



今月号のトピックス

- ▶ 青少年海外派遣研修出発式 ▶ 青少年海外派遣研修生出発の様子 ▶ 生活講座レポート
- ▶ 日本語ボランティア入門講座レポート ▶ 第3回多文化サロン「アメリカ」レポート
- ▶ 講師になった瀧澤 ▶ 協会ハロウィンレポート ▶ Chika のインドネシア体験記No.30

青少年海外派遣研修出発式

10月6日(金) 青少年海外派遣事業の出発式を行いました。

各チームの代表者が抱負を発表しました。どんな成長した姿がみられるか楽しみです。



ホットスプリングス市



ベルンドルフ市



ラットランド市



クリントン村

ついに出発

10月26日(木)

先陣をきってラットランドチームとクリントンチームが出発しました。



荷物が壊れたり、入国審査に時間がかかったりとハプニングの連続だったようですが、無事到着し安心しました。クリントンチームは11月3日(金)ラットランドチームは11月4日(土)に帰国します。

姉妹都市提携30周年記念市民ツアー出発

ホットスプリングス市に向けて市民訪問団が10月26日(木)出発しました。

久しぶりの友人と旧交を温めあって、一行は11月1日(水)帰国します。



レポート



ぼうさいこうざ 防災講座



10月22日(日)松園振興センターで防災講座を実施しました。今回は日居城野地区コミュニティ会議の皆さんと当協会の参加者が一緒になり、「地震」について学びました。2チームに分かれ30分は大友先生を講師に、地震についての備えなどを学びました。30分は外に出て県防災指導車「そばっち号」で地震体験を交互にしました。



見るのと体験するのは大違い、両手で何かに捕まらないと体が投げ出されてしまいそうでした。今回体験したのは「震度7」でしたが、このような地震が実際に起こった場合、掴まる所がないのは大変だと身を持って実感できました。

地震がない国から来た参加者もいたので、備えが大事だとわかってもらえて良かったです。

令和5年度定住外国人支援事業 にほんごがくしゅうしえん 日本語学習支援 ボランティア入門講座

レポート



(公財)岩手県国際交流協会が作った日本語学習サイト「いわてをはなそう」について説明される嶺岸先生

9月24日(日)より行われていたボランティア入門講座が10月20日(金)に終了しました。最終回は、インターネットから無料で手に入れる・利用することができる様々な団体で作った日本語学習の教材について、特徴や使い方に触れながら紹介いただきました。嶺岸先生のお話はいつも大変面白く受講者の皆さまも協会職員も大変興味深く聴講させていただきました。また来年も楽しみにしております。

にほんごこうざ 日本語講座(全15回)

ていじゅうがいこくじんしえんじぎょう
定住外国人支援事業

10月15日(日)をもって今年度の日本語講座(全15回)が終了いたしました。7月からスタートして、あっという間でしたね。ご参加いただいた受講生のみなさま、送迎に時間を割いてくださった皆様、本当にありがとうございました。「はなまき日本語サポーターズ ステップ」の日本語教室は、今後まだまだ続きます。ぜひ続けて学習にいらしてください。

カラフルな アメリカ

多国の文化で形になったアメリカ



10月13日の金曜日に第3回多文化共生サロン「カラフルなアメリカ」を開催いたしました。講師は、当協会の国際都市推進員瀧澤クリスです！職員全員で一足早いハロウィンの仮装をしておりましたがいかがでしたでしょうか（笑）。それはさておき、アメリカについてクリスの視点からご紹介しましたが、とても興味深いお話を聞いたのではないのでしょうか。サブタイトルからわかるように、いろいろな国から人が移住してきて形作られたアメリカ、それをわかりやすく説明してくれました。クリスの住んでいたところでは、ドイツ語圏をルーツに持つ方が多く、くしゃみをするとドイツ語でねぎらいの言葉をかけられることが多いそうです。ねぎらいの言葉が何なのか気になる方は調べてみてください。参加者のみなさまありがとうございました☆

講師になったクリス 未来図書館@花巻北中学校

10月25日（水）花巻北中学校2年生へ社会人講師として瀧澤がお邪魔してきました。

協会での仕事や今までの自分の職歴を交えて話をしました。私が一番に伝えたいことは「やってみたいことがあればとりあえずチャレンジしよう」です。最後に自分がチャレンジしたいことを聞きました。海外で働いてみたいと言った生徒は14人中5人もいて多いと感じて驚きました。アメリカ、フィンランド、スペインやドバイなどに住んでみたいなど海外に興味がある生徒がたくさんいました。



協会のハロウィン

今年のハロウィンは私（多田）一人キリ。。他のスタッフは同行や引率で本場のハロウィンを楽しみ中です。みんながいなくなる前に、ちょっと早いけれど1日仮装して仕事をしました。机のゴチャゴチャ感は仕事をしている証拠と言いつくせさせて下さい（笑）

カウンターのところにあるかぼちゃは多田畑で作られたものです。30kgは超える激重なかぼちゃで、通りすがりの人はなでたり叩いたりしています。



左の写真は10月31日に1人で仮装する鋼の心を持つ多田。

Chika のインドネシア体験記

たいけんき



しまからしまへ



鳥の種類を聞いても「鳥だよ」の答え。花の名前もやはり「インドネシアの花だよ」と。



溺れない様にインストラクターに支えられている私。

泳いでいてとても綺麗でした。しかしドロップオフ（浅瀬からいきなり水深数百メートルの水中地形）の境目は海の底がみえないくらい真っ暗。泳ぎがあまり得意でない私は浅瀬（2～3メートル）でもヒヤヒヤなのに、インストラクターが私を海底に連れて行き。。。そしてあわやおぼれかけた。。。。

Chika プロフィール

現在（公財）花巻国際交流協会スタッフとして勤務

2010年～2012年までの2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ポアレモ県に栄養士隊員として派遣される。首都ジャカルタよりポアレモ県まで直線距離で約2,300 km。ジャカルタから飛行機で（約3時間）→ミニバスに乗り換え（約3時間）→ポアレモ県に到着

せっかくインドネシアに来たのだから出歩かなきゃと、長期休暇はせっせと旅に出ました。飛行機をよく利用する私は、空港のスタッフや職員と仲良くなり融通をきかせてもらいました。例えばそのスタッフにチェックインを事前にしてもらうとか、預け荷物がオーバーしても見逃してもらったりとか。日本へ帰るときは20kgオーバーをお別れのプレゼントにしてもいました。Chikaはどこでも生きていけるとインドネシアの友人によく言われたものです。

よく旅に出たのはマナド。最寄りのゴロンタロ空港からマナド空港までは飛行機で1時間30分（ある時飛行機が飛ばなくて、乗り合いの車



海洋国立公園があるブナケン島。

で行ったら9時間もかかって泣きそうだった）私が住んでいたスラウェシ島の北部で一番大きな町です。そこにシニアの同期隊員「パパユキ」が日本語教師として活動

していました。マナドは日本人に似た顔の人が多くジロジロ見られることもなく、クリスチャンが多いので豚肉やビールも堂々と食べたり飲んだりできて天国のような所でした。パパユキの家は一軒家で奥さんと二人暮らし。食事にビールが付いて、いたれり尽くせりでした。マナドはダイビングの聖地と呼ばれ、たくさんのダイバーで賑わいます。私はシュノーケリングで散策。サンゴ礁には亀とたくさんの魚が



しかし魚にはちゃんと名前があった。

問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1

T E L : 0198-26-5833 FAX : 0198-26-5855

E-MAIL : kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp

ホームページ : <http://hanakokusai.wordpress.com>

開館時間 : 8:30～17:15（土日祝祭日、年末年始は休業）

